

平成29年度

授業改善プラン

- I 「目黒区学力調査」の概要
- II 平成28年度「授業改善プラン」の検証
- III 「目黒区学力調査」等に基づく授業改善プラン
 - ・本校の授業改善に向けた方策（学校全体）
 - ・第1学年～第6学年

平成29年7月
目黒区立駒場小学校

I 「目黒区学力調査」の概要

1 調査の趣旨

目黒区立小・中学校の児童・生徒に「学力調査」を実施し、児童・生徒の学習状況を組織的・継続的に調査・分析するとともに、各学校の指導法やカリキュラムの改善・充実を図り、学力の定着・向上を目指す。

なお、本調査は、目黒区立小学校の第2学年～第6学年の児童及び目黒区立中学校の全学年生徒を対象に実施された。（原則として、特別支援学級に在籍する児童・生徒は対象としない）

2 調査の内容

(1) 調査の対象学年及び対象児童数（本校）

	2年	3年	4年	5年	6年
対象数	51人	63人	62人	58人	67人
実施数	51人	63人	62人	58人	67人
受検率	100%	100%	100%	100%	100%

(2) 調査内容と実施教科

① 学習指導要領に示された目標の達成状況（観点別学習状況）

② 児童の学習に関する意識

2年 意識調査、国語、算数

3年 意識調査、国語、算数

4年 意識調査、国語、算数、理科

5年 意識調査、国語、算数、理科

6年 意識調査、国語、算数、理科、社会

(3) 実施日

平成29年4月13日（木）

Ⅱ 平成28年度「授業改善プラン」の検証

(1) 成果

昨年度に続き、全学年、全ての教科において目標値を上回っており、十分満足できる状況である。その中でも、国語科「言語についての知識・理解・技能」や算数科「数量や図形についての知識・理解・技能」に関しては、目標値を大きく上回り、ほとんどの学年で8割から9割程度の高い正答率を得ることができた。これは、少人数指導体制のもとでの指導内容改善や週4回の20分間の学習時間（ベーシックタイム）における国語科・算数科の基礎・基本の定着を図った取り組みの成果と考えられる。

また、各教科における基礎・活用についても、全ての教科で目標値を上回り十分満足な状況である。特に、活用については、基礎・基本の力を生かして各教科の言語活動を充実させたことや、答えを導く過程を重視して指導し、発表やレポートなどで自分の考えを表出させる活動を取り入れたことが、思考力・判断力・表現力の高まりに寄与したと考える。

(2) 課題

- ・正答率は概ね良好であるが、昨年度に続き、4年生の算数科、理科について課題が残った。特に、観点別に見ると関心・意欲・態度、知識・理解などのポイントが低いままである。入門期である3年生の「理科」について、より一層丁寧な指導が必要である。
- ・国語科の観点別正答率において「話す・聞く能力」では、学年が上がるにつれてその率が下がる結果となった。下学年で定着した力を維持させるための、指導の見直しやよりきめ細かい指導が必要でなる。

目黒区学力調査等に基づく授業改善プラン

(1) 本校の授業改善（学力向上）に向けた方策

- ・国語科・算数科では、少人数学習指導の指導方法や指導体制を工夫し、本調査の分析をもとに、個に応じた指導の更なる充実を図る。
- ・週3回、朝の読書タイムでは、計画的に読書指導をすることを通して、児童の語彙を増やしたり想像力を豊かにしたりする。また、意図的に教師による読書紹介の機会を設けるようにする。
- ・毎日、午後の学習の始めに20分間の学習時間（ベーシックタイム）を設定し、国語科・算数科の基礎・基本の定着を図ったり、「興味・関心・意欲」を高める活動や「知識・理解」を高める課題を積極的に取り入れたりする。
- ・各教科の言語活動の充実を図るため、国語科を中心に他教科でも言語活動の充実をねらいとした教師向けの研修会を行う。今年度も引き続き、思考力・判断力、表現力の育成に努める。
- ・東京大学・駒場野公園等、恵まれた地域の自然環境を活用し、生活科・理科・総合的な学習の時間などの体験的な学習を充実させ、児童の理科に対する関心・意欲を高める。

(2) 本校の各教科における授業改善に向けた具体的な方策

- ・算数科では、校内研究として掲げたテーマ「すべての児童がとびつく授業を目指して～考える力を育てる指導法の工夫～」をもとに授業改善に努める。「できそうでできない」「本当にそうなのか？」など、児童の心を揺さぶり考えたいくなるような問題設定を行ったり、考える楽しさを味わうことができるような手立てを考えたりする。また、具体物を使った算数的活動を多く取り入れ、基礎となる経験を豊かにしたり、親しみをもたせたりする活動も積極的に取り入れる。

- 国語科では、教科書教材と照らし合わせて調査結果を分析する。また、その分析をもとに指導のあり方を再考し指導改善に努める。
- 理科の学習では、学校で統一したノート指導を行ったり、観察などの指導では、設問や発問の工夫をしたりして、課題や視点を明確にした授業を行う体制作りを引き続き行う。また、第3学年の理科については、指導計画や評価規準をさらに見直し、観察・実験の技能や自然事象についての知識・理解が高まるよう授業内容の改善を図る。
- 少人数指導等の指導体制や指導内容を改善していく。その一つは、指導の工夫（指導形態や教材開発）である。学級担任と少人数担当とが調査結果を踏まえた上で指導計画を再考したり個に応じた指導を展開したりする。

駒場小学校 第1学年授業改善プラン

教科	区学力調査の結果等からみられる課題	授業改善の方策	重点的に実施する時期と単元名
国語	<p>○文の中で「～は」「～を」「～へ」を正しく使うこと。</p> <p>○漢字を正確に読み書きすること。</p> <p>○説明的な文章を叙述に即して正しく読み取ること。</p> <p>○文学的な文章の中で場面の様子や主人公の思いを読み取ること。</p>	<p>○文字、ことば、文の違いを理解させ、ことばのつながりを考え、助詞を正しく使えるように、文作りや言葉探し、音読や視写の指導を週1回「ことばの学習」の時間に行う。</p> <p>○国語の時間とベーシックタイムの時間を使って、繰り返し、漢字学習をする。漢字学習に対する興味をもたせる。</p> <p>○説明文では、基本文型を学習した後、関連した事柄を紹介したり、図鑑を見たりして興味・関心を広げる学習に取り組む。</p> <p>○文学的文章では、読み取ったことを表現する言語活動を取り入れる。吹き出しで書かせたり、手紙に書かせたりして、取り組みやすくする。好きな場面の紹介や音読発表会などを計画的に設定し、目的・相手意識をもたせて意欲的に学習できる工夫をする。</p>	<p>通年ベーシックタイム 7月「はをへをつかおう」 10月「まちがえをなおそう」</p> <p>通年ベーシックタイム</p> <p>6月「くちばし」 9月「うみのかくれんぼ」 11月「じどうしゃくらべ」 2月「どうぶつの赤ちゃん」</p> <p>9月「ゆうやけ」 10月「くじらぐも」 12月「ずっと、ずっと大すきだよ」 1月「たぬきの糸車」 3月「だってだっておばあさん」</p>
算数	<p>○時刻と時間に関連し、時計の読み方や一日の時間の流れなどの知識について定着を図ること。</p> <p>○繰り上がりや繰り下がりのある計算を正確に行うこと。</p> <p>○文章題の意味を正しく読み取り、解けるようにすること。</p>	<p>○日常から時計に着目させ、時刻を意識させる。時刻や時計の読み方を算数の時間だけでなく、普段の生活の中でも定着を図る。また家庭と連携して取り組む。</p> <p>○算数遊びを授業の導入に取り入れて、5や10の合成の習熟を図る。算数の時間やベーシックタイムの時間を使って、50マスや100マス計算を取り入れ、計算力を向上させる。</p> <p>○文章題に取り組むとき、解き方として、お互いに自分の考えを説明したり、表現し合ったりする学習活動を進める。問題文を作ったり、作図をしたり、具体物を操作したりする活動を積極的に取り入れる。</p> <p>○発表の際は、理由を述べさせるようにする。</p>	<p>9月「とけい(1)」 2月「とけい(2)」</p> <p>通年ベーシックタイム 6月「たしざん(1)」 7月「ひきざん(1)」 10～12月「たしざん(2)」 「ひきざん(2)」</p> <p>通年ベーシックタイム 「たしざん」 「ひきざん」 「たすのかな、ひくのかな」 文章題など</p>

駒場小学校 第2学年授業改善プラン

教科	区学力調査の結果等から みられる課題	授業改善の方策	重点的に実施する 時期と単元名
国 語	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字を正確に読み書きすること。 ○自分の考えを明確にして文を書くこと。 ○事柄の順序を考えながら、内容を読み取ること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字の学習、目黒区の漢字の学習、漢字小テスト、毎日の家庭学習を重視し、ベーシックタイムの時間を有効に活用して定着を図る。 ○日記指導を継続して行う。書く前に構想を考え、はじめ、中、終わりの基本的な構成に従って書くことを身に付けさせる。また、様々な表現方法を知り、自分の考えや思いを、文章で表す指導をする。 ○順序を表す言葉に印をつけながら、内容を正確に読み取れるよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【2月】 なかまのことばとかん字 【11月】 おもちゃの作り方 【11月】しかけカードのつくりかた
算 数	<ul style="list-style-type: none"> ○文章問題の意味を正しく読み取って解くこと。 ○時計の読み方、一日の時間の流れ、時間と時刻について、定着を図ること。 ○面の形から立体の形を見つけること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大事な数字や聞かれていることを明確にして、問題文を正確に読み取らせる。絵やテープ図などを用いて学習問題を解決できるように準備する。 ○日常生活の中で時刻を意識させる。具体物の操作や時計を読み取ることの練習を繰り返し行う。 ○立体を写し取る活動を、学習の中に定期的に組み込んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> 【2月】 たし算とひき算 【2月】 はこの形

駒場小学校 第3学年授業改善プラン

教科	区学力調査の結果等からみられる課題	授業改善の方策	重点的に実施する時期と単元名
国語	<p>○話の内容を聞き取り、話題に沿った質問をすること。</p> <p>○カードに書かれている事柄の順序や大事な言葉を読み取って、丁寧な言葉で書くこと。</p> <p>○第2学年配当漢字を書くこと。</p>	<p>○発表者の発言を聞く際に、内容を事柄ごとに分けて整理することや、その中から疑問に思ったことや質問したいことを分けて整理して書く指導を行う。また、そのためのワークシートを準備する。</p> <p>○必要な言葉にサイドラインを引かせる。また、与えられた情報の中から取捨選択し短文作りをする活動を取り入れる。</p> <p>○ベーシックタイムの時間を有効活用し、新出漢字とともに既習の漢字を出題する。苦手な児童には、個別指導の時間を確保し、きめ細かい指導をする。</p>	<p>【9月】 進行を考えながら話し合おう</p> <p>【11月】 せつめいのくふうについて考えよう</p>
算数	<p>○数直線上に示された数を読み取ること。</p> <p>○減法の文章問題を表した図を理解すること。</p> <p>○ものさしに示された長さを読み取ること。</p>	<p>○数直線を読んだり、自分で書いたりする活動を取り入れ、数直線に慣れるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数直線の一目盛りの大きさや、単位を意識させる。 <p>○文章問題を考える際には、線分図や絵などを使って、学習問題を解決するようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な絵、線分図やテープ図を適宜利用し、問題を解くことに慣れる。 ・問題文の「わかっていること」「きかれていること」にサイドラインを引かせ、問題文を正確に読み取らせる。 <p>○ものさしの示す1目盛りの大きさを丁寧に確認し、全体の大きさをいくつに分けるかを考えさせる活動を取り入れる。</p>	<p>【11月】 小数</p> <p>【2月】 □を使った式</p> <p>【10月】 長さ</p>
理科	<p>○科学的な物の見方をしようとする。</p> <p>○課題解決的な学習方法に取り組むこと。</p>	<p>○身近に見られる自然の事物や現象から、見出した課題について追究することができるように、課題を明確にするとともに、体験や観察活動に重点を置いて学習を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校周辺の環境を生かし、観察や体験活動を行う。 <p>○学習課題を正確に把握し、予想・実験・結果・考察という学習の流れを身に付けさせる。</p>	<p>【9月】 こんちゅうをしらべよう</p> <p>【11月】 風やゴムで動かそう</p>
社会	<p>○体験的活動を多く取り入れ、社会的事象に対する興味・関心をもたせること。</p> <p>○身近な社会的事象から観察し、考察すること。</p>	<p>○児童の興味・関心を高めるために、自分たちの住んでいる地域や、自分たちの生活に即した体験活動を多く計画する。</p> <p>○調べたことや体験したことから、気付いたことや分かったことをもとにして、考えたことを表現する学習活動を行う。</p>	<p>【9月】 まちの人々の仕事</p> <p>【1月】 くらしのうつりかわり</p>

駒場小学校 第4学年授業改善プラン

教科	区学力調査の結果等からみられる課題	授業改善の方策	重点的に実施する時期と単元名
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○第3学年の配当漢字を書くこと。 ○ローマ字を読んだり書いたりすること。 ○問題を最後まで聞いたり、読み取ったりして、条件に合った適切な答えを話したり、書いたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ベーシックタイムの時間を活用し、新出漢字とともに既習の漢字を出題する。漢字を書くのが苦手な児童には、個別に指導を行う。 ○総合的な学習の時間に行っているパソコンを使った学習において、ローマ字で文章を入力する活動を取り入れる。また、家庭学習にローマ字を読んだり書いたりする課題を取り入れる。 ○国語科やその他の授業においても、「話を最後まで聞くこと」「問題文を正確に読み取ること」を注意深く行うよう指示する。また、課題に適した答え方の例を具体的に示し、正確な文章を書くことに慣れさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【10月12月1月3月】 ○「漢字の広場」 【2月】 ○「情報機器を使って」（総合） 【10月】 ○「読んで考えたことを話し合おう」
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○整数や小数の計算をすること。 ○数と計算に関する文章問題について、答えを導くために式を立てること。 ○量と測定に関して、重さや長さを読み取ったり、推察したりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○整数・小数・大きな数等の計算では、十進位取りの考え方を確認しながら行うよう指導する。新しい単元の学習に入る前に、同系統の前単元についての復習を行う。 ○文章問題から式を立てる場面で、具体物を用いたり図式化したりするとともに、式の意味を考える場面を多く取り入れる。 ○具体物にて実際の大きさや長さを実感できる活動を多く取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【9月】 ○「2けたでわるわり算」 【12月】 ○「式と計算」 【1月】 ○「分数」
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○観察、実験の正確な技能を身に付けること。 ○物質・エネルギー領域で、科学的に思考し、正しい知識を身に付けること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○植物の成長の仕方が理解できるように、植物を観察するときには、成長の流れを捉えさせながら観察させる。また、前回の観察と比較しながら違いが発見できるような視点をもたせる。また、虫眼鏡の正しい使い方など、基本的な事柄については観察前に確認し、技能の定着を図る。 ○実験の体験を通して、理解を深めさせる。その際、自ら課題を見つけ、観察から仮説を立てて実験し、その結果を基に考えるというサイクルを重視して指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【10月】 ○「すずしくなると」 【1月】 ○「さむくなる」と 【2月】 ○「もののあたたまりかた」
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的な事象を自分と関わりのあることとして、興味関心をもって学習に取り組むこと。 ○資料を活用して、事実を読み取ったり考察したりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの生活を見つめ直し、水・ゴミ・電気などが、どのようにくらしと関わっているのか、家庭での実態に目を向けさせるなど、参考資料や動画を積極的に活用して指導する。 ○グラフ、写真、地図などの資料を十分に活用できるよう、読み取りに必要な視点を指導していく。また、考えたことを新聞にまとめたり、発表したりする機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 【9月】 ○「ごみのしまつと再利用」 【1月】 ○「自然を生かした人々のくらし」

駒場小学校 第5学年授業改善プラン

教科	区学力調査の結果等からみられる課題	授業改善の方策	重点的に実施する時期と単元名
国語	<p>○発表者の意図を考えながら、話の内容を正確に聞き取ること。</p> <p>○中心に書かれていることや文章のつながりに気を付けながら、説明文の内容を読み取ること。</p> <p>○漢字や言葉を理解すること。</p>	<p>○発表の内容の中心になる事柄や要点を、時にはメモするなどして、相手の話を最後までしっかり聞く活動を繰り返し行う。また、ベーシックタイムの時間を活用して聞き取りテストを行い、要点や要旨を捉える練習をする。</p> <p>○文章の構成を捉えられるように、段落ごとに内容を理解させ、そのつながりから段落相互の関係について触れたり、話の中心を考えさせたりする活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段落ごとの要点を考えさせる。 ・考えを互いに発表し合い、話の中心について全体で学び深める授業展開にする。 <p>○漢字の学習の際には、画数や意味を覚える活動を取り入れる。</p>	<p>【10月】</p> <p>○「4 考えを明確にして話し合い、提案する文章を書こう」明日をつくるわたしたち</p> <p>【1月】</p> <p>○事例と意見の関係をおさえて、自分の考えをまとめよう」想像力のスイッチを入れよう</p>
算数	<p>○小数や分数などの数に対する理解とともにその計算における正確な技能を身に付けること。</p> <p>○数量関係における2つの関係を正しく理解すること。</p>	<p>○小数、分数について、その特徴を捉えるとともに、整数と同じ考えで計算できる良さを学習活動に取り入れ、繰り返し行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習してから次の内容に取り組む等繰り返し学習を行う。 ・公式の活用の前に、それを作り出す過程に重点をおいて指導する。 <p>○計算のきまりや変わり方について、共通のきまりを見つけ出す帰納的な考えとわかったことを活かして、問題解決する演繹的な考えを重視した活動を行う。</p>	<p>【10月】</p> <p>○分数の足し算と引き算</p> <p>【11月】</p> <p>○分数のかけ算と割り算</p> <p>【2月】</p> <p>○割合とグラフ</p>
理科	<p>○理科の学習への取り組み方を見直し、思考力を育てることを意識して行うこと。</p> <p>○1年間の植物の生長について理解を深めること。</p> <p>○様々な現象を実体験として学習し、気付いたり考えたりしたことを記述すること。</p>	<p>○問題・予想・実験（観察）・結果・考察の活動に、主体的に取り組ませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想や考察の時間を確保し、意見交換を中心に学習を進める。 <p>○「種子の発芽と成長」の学習では、既習事項の復習をしながら進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インゲンマメなどの植物を育てる際に、発芽から結実までの植成長の順番や、冬の間の様子などについて、随時振り返る時間を設け、知識の定着を図る。 <p>○体験の機会を増やすため少人数で実験・観察を行うとともに、事前に正しい実験器具の取扱いの習得や技能を高める指導を行う。</p>	<p>【2月】</p> <p>○電流が生み出す力</p>
社会	<p>○資料を正しく読み取ること、またその資料からどんなことがわかるかなど、資料の考察をすること。</p> <p>○実社会に関連する学習として捉え、自分との関わりをもって考えること。</p>	<p>○授業での資料の活用場面で、その資料からどんなことがわかるかをその都度、個々に考えさせてから内容を共有させる。</p> <p>○身近な問題と関連付けた内容を取り上げ、興味・関心を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を写真や動画等を活用し、視覚的に捉えやすくする。 	<p>【10月】</p> <p>○工業生産をささえる人々</p> <p>【1月】</p> <p>○国土の自然とともに生きる</p>

駒場小学校 第6学年授業改善プラン

教科	区学力調査の結果等からみられる課題	授業改善の方策	重点的に実施する時期と単元名
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字を読むこと、書くこと。 ○説明文の内容を的確に押さえながら読み取ること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ベーシックタイムの時間での「漢字の学習」を有効活用し、漢字ドリルやドリルノートを使って既習漢字を復習する時間を確保する。 ○今後学習する3つの説明文では、要点を正確に読み取り、意味段落の内容を整理する活動を取り入れる。また、要旨を捉える活動に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 【10月】 ○「未来がよりよくあるために」 【11月】 ○『鳥獣戯画を読む』 【1月】 ○「自然に学ぶ暮らし」
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○小数⇔分数の換算をすること。 ○三角柱の展開図をかくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○小数と分数の関係を、図を用いて確認させる。その際に小数点の動かし方について確認する。 ○立方体や直方体などの展開図を復習し、同じ面が2面ずつあることを確認する。また、向かい合う面が隣り合わないことを理解させ、作図したものを実際に製作させて確かめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【9月】 ○「小数と分数の計算」 【10月】 ○「立体の体積」
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりこの振れる幅を変えても周期には影響がないことを理解すること。 ○電流の流れる向きから、方位磁針の間に電磁石を置いたときの方位磁針の針の向きを理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりこの振れ幅を3段階に分けて実験をおこない、振れている時間を計測させて、周期を比べさせる。 ○電流を流すことで磁力が生まれることを確認し、方位磁針を置いて針の向きを観察させる。また、電池の向きを変えると方位磁針の針の向きが変わることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【1月】 ○「電流と私たちの暮らし」
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○赤道を地図中から探し出すこと。 ○自動車の製作工程におけるプレスを理解すること。 ○日本の工業生産が盛んな地域を理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地球儀を用いて赤道の場所を確認する。また様々な地図を用意し、地形、国名などをヒントにして赤道の位置を予想できるようにする。 ○バーチャル自動車工場見学を教材として活用し、自動車ができるまでの過程を映像と共に理解させる。 ○工業生産が盛んな地域を日本の白地図に色を塗らせ、太平洋ベルトの位置を確かめさせる。 	